

株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日 3月31日
中間配当金受領株主確定日 9月30日
定時株主総会 毎年6月
単元株式数 100株
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関
同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
TEL 0120-094-777 (通話料無料)
上場証券取引所 東京証券取引所 市場第1部
公告の方法 電子公告により行う
公告掲載URL <https://www.tachibana.co.jp/>
(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取・買増請求、配当金の振込指定、その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。
なお、三菱UFJ信託銀行本支店にてもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

名古屋の広告看板先行リニューアル



創業100周年を迎えるにあたり、屋外広告看板をリニューアルしました。
「100年企業になったことへのお客様への感謝の想い」と「通過点の100年を超え、未来に向かって革新性とスピード感をもって進んでいく決意」を示す『創業100周年、その先へ』というキャッチコピーと「電機・電子の技術商社」を印象付ける「技術力で挑戦」を前面に打ち出しました。
9月までには東京・大阪の看板もリニューアルいたします。



創業100周年、その先へ

株式会社 立花エレテック

〒550-8555 大阪市西区西本町一丁目13番25号
電話：06-6539-2718 FAX：06-6539-8820

<https://www.tachibana.co.jp/>

株主様向けアンケート

株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

 <https://www.e-kabunushi.com/>
アクセスコード 8159

いいかぶ

検索



空メールによりURL自動返信

kabu@wjtm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入) アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



携帯電話からもアクセスできます

QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。
QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。



●アンケート実施期間は、本書がお手元に着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を進呈させていただきます



※本アンケートは、株式会社 a2media(エー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社 a2media)についての詳細 <https://www.a2media.co.jp/>
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問合せ「e-株主リサーチ事務局」
MAIL: info@e-kabunushi.com

証券コード：8159



創業100周年、その先へ

株式会社 立花エレテック

Electric & Electronics Technology

立花エレテックは電機・電子の「技術商社」です。

株主通信

第92期 年次報告書

2020年4月1日 ～ 2021年3月31日

おかげさまで100周年

100th
ANNIVERSARY
SINCE 1921



厳しい経済環境ではありますが 将来に向けた施策を確実に実行してまいります。

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

代表取締役社長 渡邊 武雄

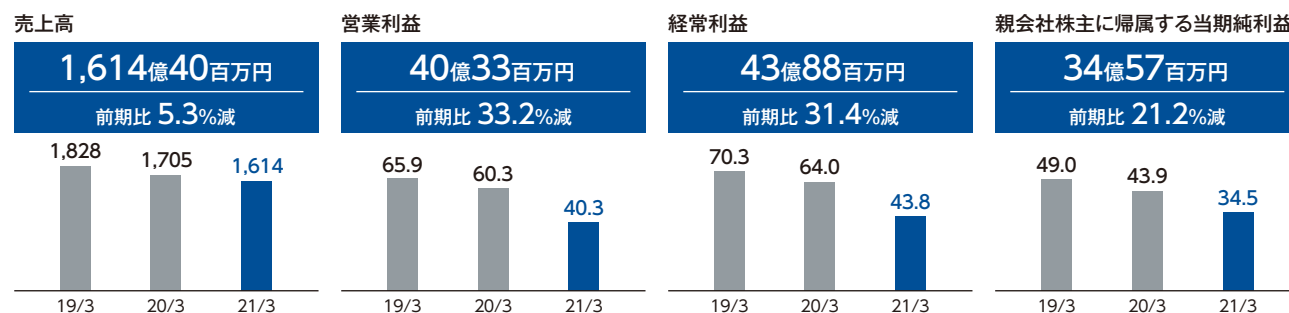
Q 当期の業績の概要についてお聞かせください。

A 長引く米中貿易摩擦に加え、新型コロナ禍の影響を受けて減収減益。

当期の業績は、売上高1,614億40百万円(前期比5.3%減)、利益面では営業利益40億33百万円(前期比33.2%減)、経常利益43億88百万円(前期比31.4%減)、親会社株主に帰属する当期純利益34億57百万円(前期比21.2%減)となり、長期化する新型コロナウイルス感染症の影響から厳しい状況で推移しました。

年度後半からは輸出や生産活動にやや持ち直しの動きが見られましたが、繰り返される感染拡大の波により、景気の先行きに対する不信感が強まり、なかなか力強い回復基調にはなりませんでした。

業績の推移 [単位：億円]



Q 今後の見通しと取り組みについてお聞かせください。

A 経済回復の時期に慌てることなくしっかり備えることで、将来を見据えた取り組みを実行。

当社グループは、2021年9月に創業100周年を迎えるにあたり、中長期経営計画「C.C.J2200」を推進してまいりましたが、計画年度の終盤になって米中貿易摩擦やオリンピック需要の収束によって経済活動は減速局面に入り、加えて新型コロナウイルスの影響が深刻化したことから2021年3月期には目標に達成することはできませんでした。

コロナ禍で大きく変化する経営環境の下で捲土重来を期して、100周年のその先を見据えて新たな中長期経営計画「NEW C.C.J」を本年10月をめに策定し、次世代の社会に適応する技術商社としてグループの総合力を高めて業容の拡大にチャレンジしてまいります。

〔新中長期経営計画「NEW C.C.J」の策定(骨子は以下の通り)〕

- ①従来からの商品による取り組みを軸にした既存分野の成長戦略
 - ・新型コロナウイルス禍以前の水準への早期復帰
- ②次世代をにらんだ投資が伴う戦略事業戦略
 - ・システム、ロボットなどの戦略取組み分野への注力
 - ・戦略テーマ、責任体制を明確化した取組み
- ③人事制度改革とリンクした実務のIT化
 - ・仕事の変化、働き方の変化を見据えた人事制度改革
 - ・業務の変化に対応した実務の見直しと効率の良い処理の実現

〔新型コロナウイルス影響下での施策の推進〕

- ①人命の安全、安心を最優先した感染症防止策の継続実施
 - ・危機管理体制のガバナンスの一層の強化
- ②利益生産性向上の取組み強化
 - ・WEB会議やオンラインセミナーの開催などICTを有効に活用した効率の良い事業活動

・バックオフィスの更なる効率化の為のIT化の推進で業務生産性向上

Q 株主還元についてお聞かせください。

A 年間で37円の配当及び長期保有株主への優待増額を今期も実施。

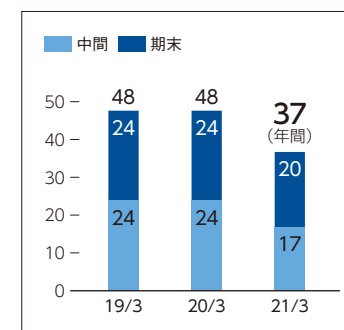
株主の皆様に対する利益還元につきましては、将来の経営環境の変化に対応できるよう財務体質の強化と事業拡大に必要な内部留保の充実を図りながら、安定配当をベースとして業績に裏付けられた適正な利益還元を行う方針であります。

当期の期末配当金につきましては、減益下においても一定の業績をあげることができたことから当初の予定通り1株当たり20円とし、既の実施済みの中間配当金17円と合わせまして、年間配当金は1株当たり37円とさせていただきます。

また、当社株式への投資の魅力を高め、より多くの方に中長期的に保有していただけるよう、株主優待を導入しており、保有株式数と継続保有期間に応じた額面のクオ・カードを6月下旬株主通信と共に発送いたしました。なお2018年に導入し、3年以上継続保有の長期保有株主様には1,000円分または2,000円分の増額が昨年より適用されております。

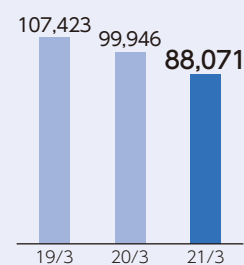
株主の皆様におかれましては、長期的な視点で当社グループの成長を見守っていただきたく、引き続き一層のご支援をお願いいたします。

1株当たり配当金 [単位：円]



FAシステム事業

売上高 [単位: 百万円]

売上高 880億71百万円
(前期比 11.9%減) ↓

売上高構成比 54.5%

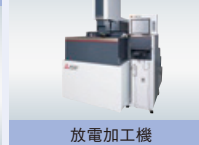
営業利益 29億19百万円



インバーター



放電加工機



レーザー加工機



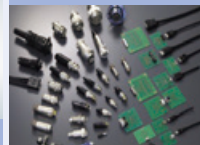
産業用ロボット



タッチパネルモニター



コネクター



FAシステム事業は、自動車関連及び半導体・液晶などの電子部品製造装置関連の設備投資の減退により低調に推移しました。

▶FA機器分野はプログラマブルコントローラー、インバーター、ACサーボ及び配電制御機器が減少しましたが、事業を挙げて取り組んできた各種センサーが物流並びに半導体製造装置向けにシステムの組込み販売として伸長しました。

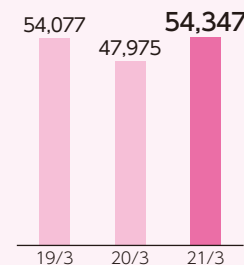
▶産業機械分野は、工作機械及びレーザー加工機が減少しました。

▶産業デバイスコンポーネント分野は、タッチパネルモニターやコンピューター周辺装置が減少しました。

▶鉄鋼プラントは、更新需要の一巡により大きく減少しました。

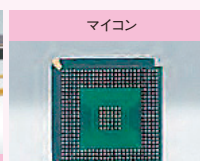
半導体デバイス事業

売上高 [単位: 百万円]

売上高 543億47百万円
(前期比 13.3%増) ↑

売上高構成比 33.6%

営業利益 8億68百万円

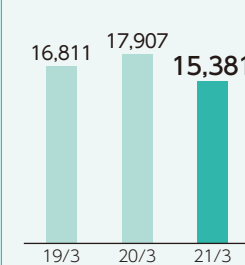


▶半導体デバイス事業では、中国の経済活動が活発になる中、電子部品に回復の動きが見られ、特に海外では中国を含むアジアの市場が劇的な回復を見せました。

▶国内では(株)立花電子ソリューションズ(2020年4月に子会社化)が寄与し、子会社業績が前年に比べて増加しましたが、当事業の主要顧客である産業向けの需要は未だ十分な回復には至らず苦戦を強いられました。

施設事業

売上高 [単位: 百万円]

売上高 153億81百万円
(前期比 14.1%減) ↓

売上高構成比 9.5%

営業利益 2億47百万円



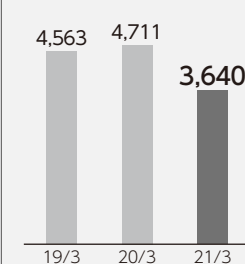
▶施設事業は、エコキュートや電気温水器などのオール電化製品などの住機品が戸建て住宅のリニューアル需要から堅調に推移しました。

▶オリンピック需要の収束から新規の建設案件は低調、また新型コロナウイルス感染拡大の影響で更新案件が延期や中止になったことから、店舗用パッケージエアコン、ビル用マルチエアコンなど主力の空調機器が減少しました。

▶新型コロナウイルス対策を含む短納期商材の拡販に努めましたが、業績を下支えするには至りませんでした。

その他

売上高 [単位: 百万円]

売上高 36億40百万円
(前期比 22.7%減) ↓

売上高構成比 2.4%

営業損失 2百万円



▶MMS分野は主力の立体駐車場向けとスチールラック向けの金属部材が工事延期の多発や鉄鋼価格の高騰から低調に推移しました。

▶EMS分野は自動車関連向け電子機器製造受託とプラントホーム可動柵の案件が、コロナ禍の影響を受けて工期延伸となったことから低調に推移しました。

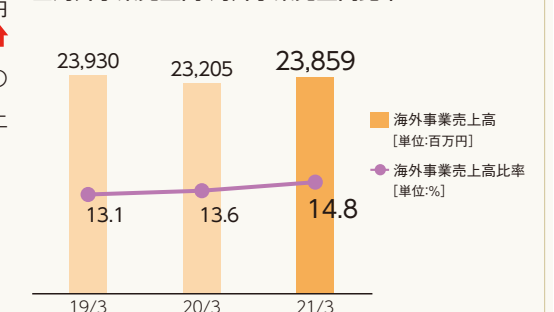
海外事業売上高

売上高 238億59百万円
(前期比 2.8%増) ↑

海外事業売上高は、米中貿易摩擦の長期化はあるものの、コロナ禍からの早期立ち上がりにより中国を含むアジアの日系・ローカル顧客向けの売上が堅調に推移しました。

なお、海外事業売上高比率は14.8%でした。

■海外事業売上高・海外事業売上高比率



1 今年も大規模3展示会に出展いたします、是非ともお越し下さい

電機・電子の技術商社として「IoT、M2Mに強い」という評価を高めるとともに、更なる技術力の向上を図るために昨年も3つの大規模展示会に出展しました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため2つはONLINEでの実施となりました。

今年も3展示会への出展を予定しています。あつ、と驚くような展示をいたしますのでご期待下さい。

関西ものづくりワールド2021

10月6日～8日
インテックス大阪

テ — マ 企業まるごとスマート化

～リアル展示会～

昨年は「関西機械要素技術展」と「次世代3Dプリンタ展」に出展し、メインブースで「工場まるごとスマート化」のデモンストレーションを行ったところ、来場者で通路があふれかえるほど大好評でした。今年もお役に立てる展示をしますので、ご来場お待ちしております。

CEATEC 2021 ONLINE

10月19日～22日
ONLINEにて

テ — マ 企業まるごとスマート化

～IT技術とエレクトロニクスの国際展示会～

昨年は初のオンライン展示会でしたが、OT(制御技術)とIT(情報技術)を融合し、生産現場の「設計」「製造」「エネルギー」における課題解決を実現する「工場まるごとスマート化」を提案する10本の動画でアピールし、多くの方に見ていただきました。今年もご期待下さい。



ET & IoT 2021

11月17日～19日
パシフィコ横浜

テ — マ ～つなぐ～極みの先へ

～組込み総合技術展～

昨年は「つなぐ」をテーマに10本のコンテンツを展示しました。「非接触」「遠隔操作」「タッチレス」という今求められる技術をこの展示の中で最も多くの方に見ていただきました。

今年は1年ぶりのリアル展示になります。体験ブースでみなさまのご来場をお待ちしております。



2 ホームページを全面リニューアル

ビジネス機会創出ができる「選ばれる技術商社」のサイトへ

創業100周年を機にコーポレートサイトを全面リニューアルしました。

トップページのデザインは、「革新的技術商社」をイメージし、先進的な雰囲気に加え、人の温かみが伝わるような色合いに仕上げました。また、閲覧者の画面サイズまたはウェブブラウザに応じてデスクトップウェブページが閲覧できる「レスポンシブデザイン」を採用し、スマートフォンからも見やすくなりました。

狙いは見た目の分かりやすさはもちろん、ユーザーに対し、当社をより分かっていたくためのコンテンツを新たに多く設けました。

創業100周年を迎える年にあたり、当社のブランド価値を高め、より一層PRできるホームページにしてまいります。ぜひとも一度ご覧ください。

<https://www.tachibana.co.jp/>



戦略ビジネス/製品

当社の戦略ビジネス/製品について解説しています。昨年開設した「TC Smart Lab」の紹介や、CEATEC ONLINEで展示した動画を掲載しています。掲載内容については、随時更新していきます。

技術商社立花エレテック

「技術商社」という当社の特有のビジネスモデルや、商社における技術者の役割について説明し、当社の「特徴と強み」を知っていただけます。

100周年記念サイト

創業から100年の軌跡を、当社の転機となった10個のエピソードに分けて振り返ります。

3 株主総会動画を配信いたします

株主総会にご参加いただけなかった株主さま向けに、株主総会の一部を当社Webサイトでご視聴いただけます。

視聴方法 以下当社Webサイトのトップページ、IRNEWSにアクセスし、ご視聴下さい。
<https://www.tachibana.co.jp/>

公開日 第92回定時株主総会終了の数日後予定

連結貸借対照表(要旨)

(単位：百万円)

科 目	当期 (2021年3月31日現在)	前期 (2020年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	90,725	88,422
現金及び預金	18,987	17,117
受取手形及び売掛金	54,816	57,190
商品	14,329	11,692
その他	2,591	2,422
固定資産	29,539	25,009
有形固定資産	5,192	5,201
無形固定資産	606	431
投資その他の資産	23,741	19,377
資産合計	120,265	113,432
負債の部		
流動負債	41,221	41,013
支払手形及び買掛金	33,925	33,183
短期借入金	2,064	1,548
その他	5,232	6,281
固定負債	3,837	2,452
長期借入金	60	71
繰延税金負債	2,814	1,421
退職給付に係る負債	706	652
その他	255	307
負債合計	45,058	43,466
純資産の部		
株主資本	67,997	65,575
その他の包括利益累計額	7,208	4,390
純資産合計	75,206	69,966
負債純資産合計	120,265	113,432

連結損益計算書(要旨)

(単位：百万円)

科 目	当期 (自2020年4月 1日 至2021年3月31日)	前期 (自2019年4月 1日 至2020年3月31日)
売上高	161,440	170,541
売上総利益	21,115	23,390
販売費及び一般管理費	17,082	17,352
営業利益	4,033	6,038
経常利益	4,388	6,401
税金等調整前当期純利益	4,787	6,439
親会社株主に帰属する当期純利益	3,457	4,390

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

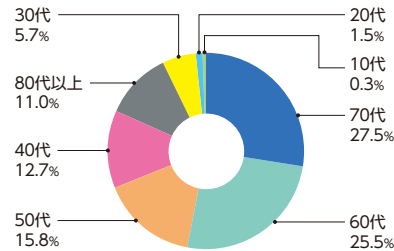
(単位：百万円)

科 目	当期 (自2020年4月 1日 至2021年3月31日)	前期 (自2019年4月 1日 至2020年3月31日)
営業活動による キャッシュ・フロー	4,948	5,176
投資活動による キャッシュ・フロー	△1,302	△1,401
財務活動による キャッシュ・フロー	△1,835	△1,634
現金及び現金同等物に係る 換算差額	△152	△21
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	1,658	2,118
現金及び現金同等物の 期首残高	15,756	13,638
現金及び現金同等物の 期末残高	17,415	15,756

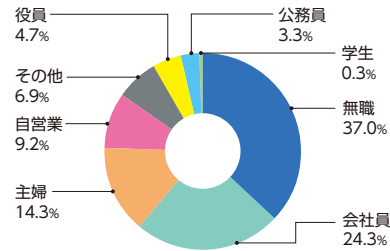
株主アンケート結果の
ご報告

第92期中間報告書「株主通信」にて、株主の皆様へのアンケートを実施させていただきました。その結果、1,173名の株主様からご回答が寄せられました(回答率13.5%／前年より123名増加)。お忙しい中ご協力いただきまして、誠にありがとうございました。ここに、お寄せいただいたご回答の集計結果を報告させていただきます。当社では、皆様からの貴重なご意見を今後の活動に反映させるべく努め、今後とも企業価値の向上に取り組んでまいります。

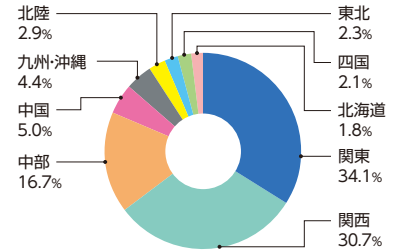
年 代



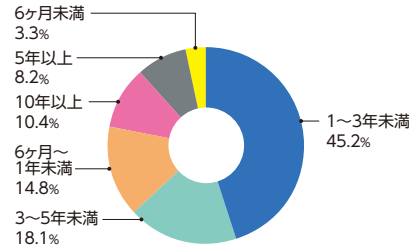
職 業



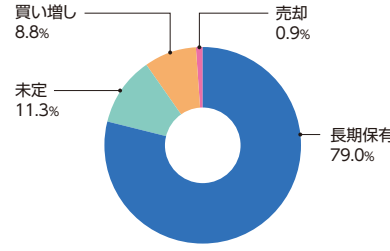
地 域



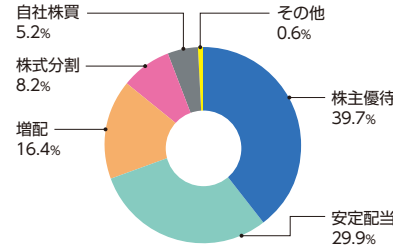
当社株式の保有年数



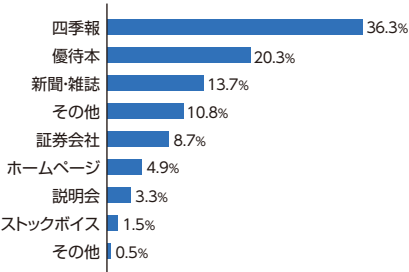
当社株式の保有方針



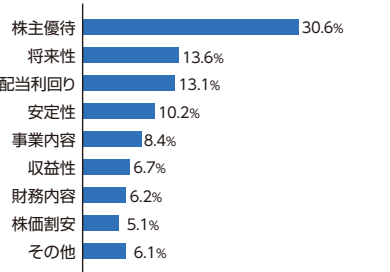
当社株主還元策として期待すること(複数回答可)



当社株式を購入されるきっかけとなった情報源(複数回答可)



当社株式の購入理由(複数回答可)



当社株式を3年未満保有の株主様が63.4%、4年前の株主優待導入発表後に新たに株主になられた方が増えたと推測されます。また、地域別では関東が関西を抜いて昨年に引き続きトップになりました。

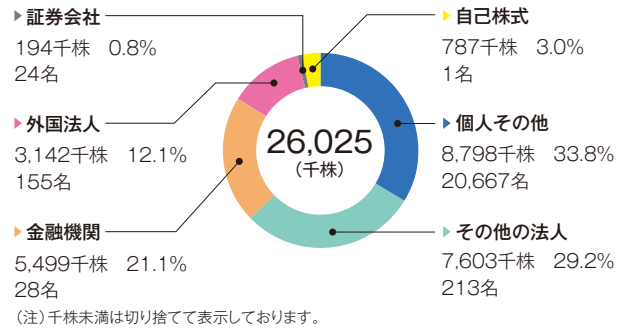
株式の状況 (2021年3月31日現在)

発行可能株式総数	96,000 千株
発行済株式総数	26,025 千株
株主数	21,088 名

大株主		
株主名	持株数	持株比率
三菱電機株式会社	1,921 (千株)	7.61 (%)
株式会社サンセイテクノス	1,478	5.86
立花エレテック従業員持株会	1,167	4.62
株式会社三菱UFJ銀行	1,082	4.29
株式会社さくらでん	754	2.99
株式会社ノーリツ	742	2.94
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	508	2.02
日本生命保険相互会社	471	1.87
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	465	1.84
株式会社たけびし	459	1.82

(注) 1. 千株未満は切り捨てて表示しております。
2. 当社は、自己株式787千株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況 (2021年3月31日現在)



会社概要 (2021年3月31日現在)

商号	株式会社 立花エレテック
英文社名	TACHIBANA ELETECH CO.,LTD.
創業	1921年(大正10年)9月1日
設立	1948年(昭和23年)7月12日
資本金	58億74百万円
従業員数	882名(連結1,426名)
株式上場	東証一部
ISO取得	品質マネジメントシステム ISO9001 JQA-QMA10303 環境マネジメントシステム ISO14001 EMS693431 情報セキュリティマネジメントシステム ISO27001 IS 509430



取締役・監査役・執行役員 (2021年7月1日現在)

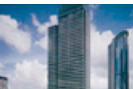
代表取締役社長 社長執行役員	渡邊 武雄	執行役員	米田 浩
取締役 専務執行役員	山口 均	執行役員	植田 裕和
取締役 専務執行役員	高見 貞行	執行役員	多田 満
取締役 常務執行役員	布山 尚伸	執行役員	松浦 良典
取締役	生田 誠	執行役員	城下 雅紀
取締役	辻川 正人	執行役員	永安 悟
常勤監査役	松橋 澄	執行役員	佐野 博行
監査役	大谷 康弘	執行役員	小林 幸司
監査役	塩路 広海		

事業所 (2021年3月31日現在)

本社	大阪市西区西本町一丁目13番25号	営業所	東北(宮城県)
支社	東京(東京都)、名古屋(愛知県)		
支店	東関東(茨城県)、北関東(埼玉県)、神奈川(神奈川県)、三河(愛知県)、東海(愛知県)、北陸(石川県)、三重(三重県)、滋賀(滋賀県)、南大阪(大阪府)、神戸(兵庫県)、姫路(兵庫県)、広島(広島県)、四国(香川県)、九州(福岡県)		

関係会社 (2021年4月1日現在)

国内	海外
研電工業株式会社 株式会社立花宏和システムサービス 株式会社大電社 株式会社立花デバイスコンポーネント 株式会社高木商会 株式会社立花電子ソリューションズ	本社(大阪市西淀川区) 本社(兵庫県尼崎市) 本社(大阪市浪速区) 本社(東京都港区) 本社(東京都大田区) 本社(東京都港区)
	立花オーバースィーズホールディングス社 タチバナセールス(シンガポール)社 タチバナセールス(香港)社 台湾立花股份有限公司 立花機電貿易(上海)有限公司 支店: 北京、深圳 営業所: 武漢、大連、青島 タチバナセールス(バンコク)社 タチバナセールス(マレーシア)社
	中華人民共和国(香港) シンガポール 中華人民共和国(香港) 台湾(台北市) 中華人民共和国(上海市) タイ王国(バンコク) マレーシア(セランゴール州)



1 香港



2 シンガポール



3 台湾



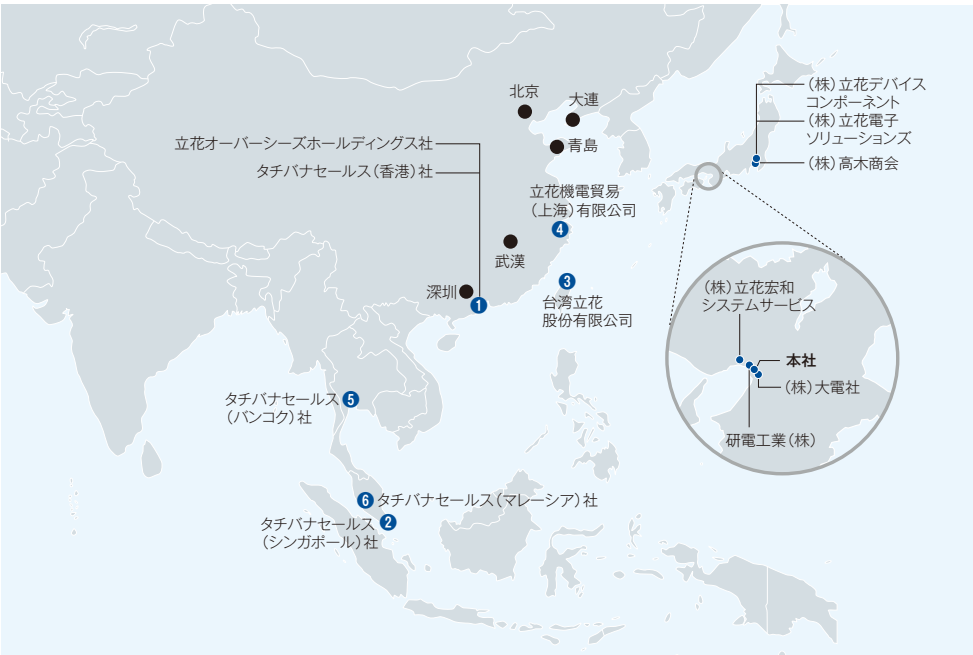
4 上海



5 バンコク(タイ)



6 マレーシア



北京支店



深圳支店



武漢営業所



大連営業所



青島営業所